

開催日程：2020年2月10日（月）15：00～17：00

場所：日本学術会議 5F 5-C(1)会議室

出席者：片田、小松、井上、多久和、太田、田高、正木、山本、綿貫、西村（議事録）

Web：浅野、内布、南

欠席：寶金、岩崎、川口、野嶋、菱沼、吉沢

（順不同、敬称略）

#### 資料

- 1 第24期日本学術会議健康・生活科学委員会看護学分科会第8回議事録（概要版）
- 2 第24期日本学術会議健康・生活科学委員会看護学分科会第8回議事録（詳細版）
- 3 提言（案）健康マネジメント時代を支える看護師機能の高度化—裁量権移譲に基づく高度実践看護師制度の創設
- 4 提言（案）地元創成を促進する看護系大学の使命
- 5 土曜日・日曜日及び祝日における講演会、シンポジウム等の開催について

#### 【看護学分科会】

##### （1）健康・生活科学委員会の報告

小松副委員長より、様々な分科会から健康・生活科学委員会へ提言が出てきており、査読が進んでいることが報告された。

健康・生活科学委員会から大型研究計画に関するマスタープランにチャレンジし、ヒアリングも受けた。

文部科学省のロードマップ2020に挑戦できるのこととなった。ロードマップ2020の策定に関わる提案は2月末が締め切りである。文部科学省はロードマップとして重点課題を選出するため、本委員会からも具体的な財政、組織間の連携について再度申請する予定である。

##### （2）提言について

片田委員長より、2020年2月28日が、第2部へ提出するべ切であり、その後、幹事会へ提出される予定が確認された。看護学分科会からは2本の提言を出すことが検討されている。

##### 1) 高度実践看護班

井上委員より、テーマを「健康マネジメント時代を支える看護師機能の高度化—裁量権移譲に基づく高度実践看護師制度の創設」とする提言（案）について説明があった。

議論を経て、テーマの表現の検討、提言内容の具体性、裁量権移譲を中心整理すること、高度実践看護についての分かりやすい説明、見出しの付け方等々を検討して修正し、健康・生活科学委員会へ提出することとなった。

## 2) 地元創成看護班

南委員より、テーマを「地元創成を促進する看護系大学の使命」とする提言（案）について説明があった。

議論を経て、テーマの表現の検討、既存の枠組みからの「転換」とするか、提言内容の構成、見出し表現の工夫、多様な職種や領域と連携して大学にあるリソースを活用することを加える、看護系大学における実践例の入れ方等々を検討して修正し、健康・生活科学委員会へ提出することとなった。

## (3) 今後の活動について

片田委員長より、第 25 期に向けた検討が進んでいることが報告された。

今後の活動としては、日本看護系学会協議会との連携、看護系学会が日本学術会議の協力学術研究団体となること、看護学における優先課題の検討、看護学の委員会化、他分野との学術的連携などが議論された。

次回の看護学分科会：3月23日（月）13:00～15:00

・議題：今後の活動について